

令和4(2022)年度 下都賀地区人権教育研修会を開催しました

令和4(2022)年11月17日(木) 実施

下都賀教育事務所 学校支援課

1 研修の目的・内容

(1) 目的

共感的理解を深める指導、明るい展望がもてる指導、人権問題解決への実践力を育てる指導など、各教科等における具体的な指導の在り方について研修を深め、各学校における人権教育の一層の充実を図る。

(2) 内容

○班別研修

「『各教科等における直接的指導』を充実させるための指導の在り方」についての授業実践を基にした班別協議

2 本研修で確認したこと

【栃木県における人権教育の推進について】

○ 人権教育の目標等

○ 三つの内容及び三指導について

○ 「育てたい資質・能力」と学習指導案への位置付けについて

○ 直接的指導について

各教科等の授業において、人権一般や様々な人権問題を取り上げ、各教科等本来の目標を達成するとともに、自他の人権を尊重し、かつ人権に関わる様々な問題を主体的に解決し、人権尊重の社会を築いていこうとする資質や能力を育成するなど、人権教育のねらいを達成する指導

○ 共感的理解を深める指導と明るい展望がもてるようにするための指導について

【参考資料】

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| ・「令和4(2022)年度版 下都賀地区学校教育の重点」 | (下都賀教育事務所 下都賀地区市町教育委員会連合会) |
| ・『令和4年度 人権教育推進の手引』 | (令和4年4月 栃木県教育委員会) |
| ・『様々な人権問題を扱った直接的指導の工夫』 | (令和3年3月 栃木県教育委員会) |
| ・『人権教育推進のためのQ & A—直接的指導編—』 | (平成31年3月 栃木県教育委員会) |
| ・『人権教育推進のためのQ & A』 | (平成29年3月 栃木県教育委員会) |



3 本研修で学んだこと (参加者が記入した「研修の振り返り」より)

○直接的指導、「共感的理解」、「明るい展望」について

- ・低学年における直接的指導は、教科の目標を達成しつつ明るい展望につなげるのが難しいと思いました。その中で、高学年に向けて人権感覚の素地をつくる意識をもって指導に当たることが大切だと感じました。
- ・低学年では、まず「人の痛み」等に共感できる心を育て、将来的に様々な人権問題にしっかりと向き合える素地を養うことが大切であることが分かりました。
- ・直接的指導は、様々な教科、単元で取り組めるものであると感じました。育てたい資質・能力を念頭に置いた授業をしていきたいです。
- ・差別の不当性に気付くことや自分の心にもある偏見に気付くことなど、1年生の段階でも、工夫によって人権意識の向上を図ることもできると感じました。
- ・あらゆる人権問題を、「子どもたちに起こりうること」として捉え、その時どう考え、どう行動したらよいのかを指導することが大切であると感じました。
- ・相手の立場に立って考えられるよう工夫することは、子どもが共感的理解を深めるきっかけになると感じました。日々の授業で、どこで直接的指導を行うのか、計画的に授業づくりを行いたいです。



- ・本時の目標と人権教育のねらいを達成するのが難しいと感じていましたが、改めて直接的指導の大切さを感じました。差別解消に向けて、年間指導計画にしっかりと位置付けることが必要であると感じました。
- ・直接的指導を続けることで、水が染みこみように、じわじわと、子どもたちの人権感覚を養い育てていくとともに、指導者も成長していけたら、と思いました。
- ・直接的指導には、様々なアプローチの仕方があることを知りました。難しいと思っていた指導も、視野を広げて考えることができそうです。
- ・その授業を通して、子どもたちにどんな資質・能力を身に付けていくのかを念頭に置き、計画的に実践することが大切だと感じました。
- ・子どもたちが人権問題を自分事と捉え、明るい展望をもつためには、各教科の特性を考えたり、自校の重点目標を踏まえて教材を選んだりして指導することが大切だと分かったので、実践していきたいです。
- ・今までの自分の指導は、共感的理解でとどまっていた部分がありました。今後は、明るい展望まで意識し、多様性が求められる社会において、これから生きる子どもたちが明るい未来をイメージできるようにしていきたいです。

○ 班別研修について

- ・様々な先生方の実践例を聞いたことで、人権教育に関する自分自身の考え方が広がりました。
- ・直接的指導の在り方や共感的理解、明るい展望をもてるようにする工夫、手立てについて、理解が深まりました。
- ・自校の取組を伝えるとともに、他校の取組や先生方の考え方を知ることができ、とても有意義な研修となりました。
- ・各学校の人権教育計画は、その学校の実状に合わせたものであり、その違いを知ることができて勉強になりました。
- ・普段あまり意識していなかった直接的指導について、他の学校の先生から多くの意見をいただいたので、今後の参考にしたいです。
- ・授業の組み立て方、指導案、育てたい資質・能力について、他校の取組から自校の取組を見直すきっかけとなりました。

○ その他

- ・少しの意識、言葉かけ、行動等によって、子どもたち、職員同士、そして学校全体が人権意識を高めることができることを学びました。
- ・各校の実践等を知り、自分の学級経営を見直すきっかけとなりました。
- ・今後は、子どもたちの意識を高めるとともに、自分自身の人権感覚も磨いていく必要があると感じました。
- ・自分としても、学校としても修正及び周知が必要なことに気付きました。特に、全体計画や「育てたい資質・能力」に一貫性をもたせて指導案に位置付けること等は、すぐにも修正していきたいと思います。
- ・「生かしたい児童生徒」に関して、設定するにあたって自分の認識の違いがあったので、今日の学びを生かして改めて考えていきたいです。
- ・今日の研修で学んだことは、学校に戻って全職員で共通理解を図りたいと思います。
- ・人権教育全体計画を再度見直し、全学年で意図的・計画的に指導を進め、人権尊重の精神を育てていきたいと思います。

